



THE ROTARY CLUB OF MIYOSHI CHUO

三次中央会報 ロータリークラブ

事務所 / 広島県三次市十日市東 1-16-19
TEL (0824) 64-1245
FAX (0824) 64-1245
E-mail m-c-rc@vega.ocn.ne.jp
http://mcrc.server-shared.com
例会場 / 広島県三次市十日市南 1-10-1
三次グランドホテル
例会日 / 月曜日 12:30~13:30

2023-2024 ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2710

- 本日のプログラム 会員卓話 親睦委員会
熊本会員、谷会員、阿部会員
- 次回例会日時 2024年2月26日(月) 19:00~
- 次回プログラム 会員卓話 ロータリー情報委員会
堀川会員

会長 / 上田 秀樹
幹事 / 栗本 清秀

●2023~24年度 国際ロータリーのテーマ



世界に希望を生み出そう

●2023~2024年度 三次中央RCスローガン

平和を実感し、
ロータリーをもっと楽しもう

■第1413回例会記録

- 日時.....2024年2月5日(月)12:30~
- 点鐘.....会長
- 国歌「君が代」斉唱.....全員
- ソング「我らの生業」.....全員
- ゲスト紹介
慈照園 グループホームゆうばえ管理者 長岡展生様

■開会挨拶.....上田会長

2月は平和構築と紛争予防月間です



皆さんこんにちは。
ゲストの長岡展生様ようこそおいでくださいました。後ほどよろしく願いいたします。

2月の月間テーマは「平和構築と紛争予防月間」です。昨年までは「平和と紛争予防、紛争解決月間」でした。紛争解決が抜けていますが、何か意図があるのでしょうか。

RI会長のテーマ「世界に希望を生み出そう」、ガバナー信条「平和の種をまこう」となっています。この2月のテーマが最重点月間ではないでしょうか。

平和構築と開発の担い手となる人材を育成するために、ロータリー財団から授与される奨学金で毎年世界で130人が選ばれます。この奨学金を授与された人をロータリー平和フェローと呼びます。世界各地8つの大学に設置されている7つの平和センターで学びます。アメリカ2校、イギリス、オーストラリア、スウェーデン、ウガンダ、

トルコそして、日本です。

日本では国際基督教大学(通称ICU)に設置されています。東京三鷹市にあるICUの平和センターでは、紛争や開発に関する問題解決のスキルの養成に国際平和の実現、および国際協力の発展に向けた取り組みを支援しています。2年間の修士課程プログラムの中で、1年目に広島研修を実施、日本全国の会員から協力金(会員一人当たり15円、合計130万円強)はこのプログラムに充てられています。現在ICUで学ぶ平和フェローは23人です。

その投稿が2月のロータリーの友誌に記載されています。ご一読ください。

*前号の訂正

会長挨拶の中で、広陵高校卒業生の球界での活躍人数を[7名]と記載しておりましたが、間違いです。[プロ、アマ球界で多数]が正解です。

■ポールハリス・フェロー表彰.....

- 沈君…第4回ポールハリス・フェロー
- 杉谷君…第3回ポールハリス・フェロー



■「四つのテスト」唱和.....松本会員

この四つのテストの4番目「みんなのためになるかどうか」については忘れられない思い出があります。それは今を去ること15年前、クリスマス家族会で「白雪姫」の劇をした時のことです。私が意地悪なおきさき役。白雪姫は交換留学生のアメリカ人レンさんでした。

その時の私のセリフにこの四つのテストをもじって「おきさきのためになるかどうか」というのがありました。以来、「みんなの」ではなく「おきさきの」と、ふつ！と口から出そうになるのです。クワバラクワバラ…
きょうはちゃんとできました。

■幹事報告.....栗本幹事

- 本日19時より当グランドホテルにおきまして第8回理事役員会を開催します。
- 次週2月12日は建国記念日のため休会になります。
- 4月9日の庄原でのIMの会費12,000円がまだの方は2月中にお願いいたします。
- ロータリーの友誌、ガバナー月信2月号を配布しています。
- 米山記念奨学会に寄付いただいた方には、領収書をお手元に配布しています。

■出席報告.....山縣委員長

- 第1411回1月22日

会員数	36名	Make-up	0名
欠席	3名	出席合計	33名
欠席者のうち規定免除	1名	出席率	94.29%

- 第1413回 本日の出席は36名中28名です。

■SAA.....池田SAA

- 会員誕生日…井上君、宮武君、光永君



●会員ニコニコBOXへご出宝

- 井上君 誕生日です。ゲストをお迎えして。(大)
- 光永君 2/18、72歳になります。お祝いありがとうございました。(大)
- 宮武君 2月7日で43歳になります。長岡さん、よろしくお祈りします。(大)
- 上田君 ゲスト、長岡様をお迎えして。
「ゲストに慈照会、長岡様をお迎えして」
石田君、杉谷君、平田君、沖君、山縣君、酒井君、角谷君、栗本君、和田君

ニコニコBOX本日出宝額 19,000円

花だより

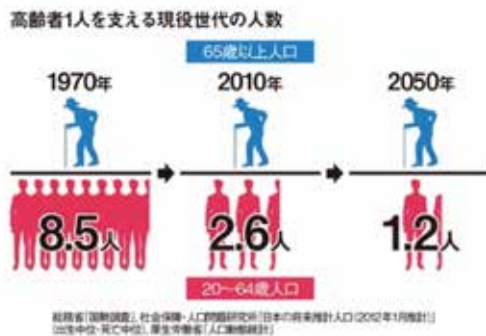
安藤会員より



春を呼ぶ
三輪ならび
白梅や



ルピナスの苗を買ってきました。ビニールポット苗のまま、小さなプランターに入れました。様になりそうですね。



年問題です。

厚生労働省では2025年を目途に地域包括システムの構築を推進しています。どう言うことかという、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを、最後まで続けることができるよう地域内で助け合う体制です。自助、互助、共助、公助です。

今後、医療・介護の社会保障費の大幅な増加。これまでの制度の形は継続できません。

2025年は社会保障の「費用の不足」、2040年は「持続可能性」が大きな問題として出てきます。例えば、ごみ収集にお金がかかるようなことになるかもしれないのです。

これらの問題を解決していくためには、社会保障費の給付と負担の見直しなどの抜本的な改革、健康寿命の延伸、医療・介護サービスの生産向上などが必要とされています。

世界の平均寿命を比べると日本は第一位、84.3歳です。慈照会グループにはミャンマーからの職員が何名かいますが、彼女らの感覚としては、高齢者の介護というものの感覚のない人が多いのです。と言いますのも、ミャンマーの平均寿命は60歳くらいなのです。

さて、慈照会では、施設に入所して受けるサービスとして、養護老人ホーム、特別養護老人ホーム、ケアハウス、サービス付き高齢者向け住宅、グループホームなどがあります。また、医療を目的として受けるサービスとして、ビハーラ花の里病院、三次神経内科クリニック花の里、老人保健施設ナーシングホーム沙羅があります。

現在、私が勤務しているグループホームとは、

認知症対応型生活介護とも言い、認知症と診断された高齢者を対象として少人数で共同生活を送ることができる介護施設です。住み慣れた地域で、少人数の入所者、少人数の介護職員と、普段の音、匂い、雰囲気の中で、能力に応じ、可能な限り自立した生活を送ることができるよう支援することが目的の施設です。

■居住環境

個室が基本。部屋の床面積は収納設備等を除いて7.43㎡以上と定められています。生活する部屋(個室)のほかに、利用者同士が交流できる共有スペースがあります。

■介護体制

日中は常勤換算方法で利用者3人に1人、夜間はユニットごとに1人。「できることは自分で」が基本的なスタンスで、介護職員はサポートに重点を置きます。

■医療体制

緊急時の連絡先として協力医療機関と提携していますが、看護師配置は義務付けられていません。

日常的な医療ケアが必要な方は入居が難しいのが現状です。昨今は医療ニーズにこたえて、医療連携体制加算を取得する施設も増えてきています。

メリットもあるかわりに、デメリットもあります。医療依存度が高まると退所しなければならない事、施設の絶対数が少ない上に利用者さんの長期入所が可能なので、待機期間が長い事、また、通院時やトラブルがあると、家族の協力が必要となるなどです。

グループホームの施設、入所者の方たちの生活の様子の写真を見ていただきながら、私の話を終わらせていただきたいと思います。

本日はご清聴ありがとうございました。



■謝辞.....上田会長
 ■点鐘.....上田会長